

大学のあるまちづくりの進捗状況等について

1 令和5年度の主な大学連携について

(1) 千葉大学・iUとの連携について(案)

千葉大学	児童・生徒のリテラシー育成のためのガイドライン作成に関する連携
	区内中小企業によるAIの活用に関する研究 / 空き工場の産業拠点化に向けた調査研究
	区内ものづくり産業における循環型素材活用に関する研究 / 大学と区内事業者との連携
	人と自然が共生する生活環境の実現に向けた研究 / 養蜂を通じた食育・緑化推進に関する研究
	区民の健康度評価研究 / 健康増進支援システムの構築に関する研究
	区立公園等における多様なニーズに対応する利用案内看板の設置に関する研究
iU	ICTを活用した地域循環型シェア傘の運用に関する調査研究
	AI分析による住民参加型公園管理に関する調査研究
	高齢者デジタルデバインド解消事業 / STEAM人材育成事業

(2) 千葉大学とのスタートアップ共同事業について(案)

令和3年度から実施しているスタートアップ共同事業について、令和5年度も引き続き、千葉大学デザイン・リサーチ・インスティテュート(以下「dri」という。)と連携し、行政課題の解決に向けた連携を図っていく。

【主な内容】

- ・ごみ集積所の看板デザイン ・庁舎リニューアルに伴う情報コーナーデザイン
- ・公園マスタープラン改定に伴うデザイン協力 ・墨田漢方研究所による区民向け講座
- ・新保健施設等複合施設の健康促進サインデザイン協力

(参考) 令和4年度の共同事業成果

- ・墨田区基本計画中間改定のデザイン協力
- ・住宅マスタープランのデザイン協力
- ・すみだ教育指針のデザイン協力
- ・すみだ郷土文化資料館のロゴ等デザイン協力
- ・区内繁華街の人流分析
- ・ワクチン接種会場に伴う会場の提供



デザインは予定



デザインは予定



(3) 千葉大学認知行動カウンセリング室の開設について

墨田サテライトキャンパスの機能強化として開設し、心理教育相談を行うと共に、driによる可変空間のシミュレーションも併せて実施し、相談日以外は区民が可変空間の研究を体験できる場とする。

ア 設置場所：墨田サテライトキャンパス2階

イ 担当教員：千葉大学医学部附属病院認知行動療法センター長、千葉大学子どものこころの発達教育研究センター長 教授 清水 栄司 (医師・公認心理師・医学博士・精神保健指定医)

ウ 開設時期：令和5年6月(予定)から、毎週火・木曜日(1回50分、一人計16回)

エ 相談内容：うつ、不安、不眠などに悩む人への心理療法(カウンセリング)

2 UDC すみだの運営等について

(1) 地域開放スペースの運営について

令和4年10月から、千葉大学墨田サテライトキャンパス1階を地域に開放し、大学の研究成果の展示やUDC すみだの情報発信等、UDC すみだを中心とした大学のあるまちづくりが本格的にスタートした。今後、大学と連携し、1階機能の充実や、2階の地域開放に向けた検討を進めていく。

【これまでの運用実績】

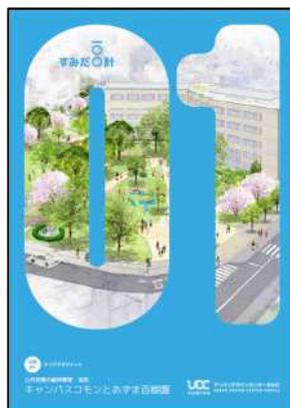
内容	【常設】UDC すみだ展示、dri 展示（植物工場・移動式遊具・素材活用） 【企画展示】キャンパス設立までの歩み、文化財のユニバーサルデザイン
来場者	1,170名（令和4年10月24日～令和5年2月28日）

(2) 大学のあるまちづくり未来ビジョンの策定について

令和2年度から令和4年度までの3年間、国土交通省官民連携都市再生推進事業に採択され、10の目標からなる「大学のあるまちづくり未来ビジョン」を策定した。

今後は、「100（たくさん）のプロジェクト」を地域に生み出し、大学・区民・地域・団体等と連携し、まちづくり等の取組の輪を広げながら目標の実現を目指していく。

【未来ビジョンとすみだ百計】



3 その他

(1) BELCA賞の受賞について

優れた改修を実施した建築物を表彰する第32回 BELCA 賞において、区が施工した旧すみだ中小企業センター大規模改修工事が、既存施設の空間・機能の特性を活かした改修や、まちと大学がシームレスに繋がることを意図した設計等が評価され、同賞のベストリフォーム部門を受賞した。



(2) UDC すみだブランディングに係るグッドデザイン賞の受賞について

千葉大学デザインの知見を活用して開発したUDC すみだのブランディングについて、河川をモチーフにしたデザイン展開や、既存のものを活用するデザインエコシステムが評価され、2022年度グッドデザイン賞を受賞した。

